

推定交通量及びその算出の基礎を記載した書類

## 第 1 . 推定交通量

対象道路となる一般国道 2 0 1 号 ( 八木山 B P ) の年度別推定交通量は別表 1 のとおりである。

## 第 2 . 推定交通量算出の基礎

### 1 . 推定方法の概要

当該路線の実績交通量の推移及び国土交通省が算出した将来交通需要推計値を用いて、推定交通量を算出した。

### 2 . 推定交通量の算定

平成 1 8 年度から平成 2 2 年度については、実績交通量及びその伸び率を考慮して算定した。

平成 2 3 年度以降については、前年度の交通量を基礎とし、「北九州ブロックの将来交通需要推計値 ( 平成 1 5 年 1 1 月国土交通省算定 ) 」の変化率を乗じることにより算定。

## 第 3 . 推定交通量算出のための設定条件

### 1 . 基礎データ

#### ( 1 ) 将来自動車交通需要

「全国将来交通需要推計 ( 平成 1 5 年 1 1 月国土交通省算定 ) 」のうち、北九州ブロックを使用。

年度	H 1 1	H 2 2	H 3 2	H 4 2	H 5 2	H 6 2
北九州ブロック 走行台キロ(全車ベース) ( 10 億台 <sup>*</sup> □/年 )	55	60	63	64	61	59

#### ( 2 ) 割引による料金弾性値

「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」( 昭和 3 3 年法律第 3 4 号 ) に基づく高速道路利便増進事業に係る割引については割引内容に応じて料金弾性値を 0 ~ 0 . 1 に設定した。

別表1 年度別推定交通量

年度	交通量 (百万台キ口)	年度	交通量 (百万台キ口)	年度	交通量 (百万台キ口)
平成18年度	45	平成33年度	-	平成48年度	-
平成19年度	44	平成34年度	-	平成49年度	-
平成20年度	42	平成35年度	-	平成50年度	-
平成21年度	40	平成36年度	-	平成51年度	-
平成22年度	39	平成37年度	-	平成52年度	-
平成23年度	39	平成38年度	-	平成53年度	-
平成24年度	39	平成39年度	-	平成54年度	-
平成25年度	39	平成40年度	-	平成55年度	-
平成26年度	36	平成41年度	-	平成56年度	-
平成27年度	-	平成42年度	-	平成57年度	-
平成28年度	-	平成43年度	-	平成58年度	-
平成29年度	-	平成44年度	-	平成59年度	-
平成30年度	-	平成45年度	-	平成60年度	-
平成31年度	-	平成46年度	-	平成61年度	-
平成32年度	-	平成47年度	-	平成62年度	-